

「2015年度スピードアップ・マナーアップ要綱」

～ファンに愛される、魅力ある社会人野球をつくるためにスピードアップ・マナーアップを目指そう～

戦略に富んだ日本の野球の良い点を消さずに、現行で“長い”“無駄な時間が多い”と言われている試合時間を短縮し、魅力あるかつ国際基準に適合した社会人野球を実現するには、監督・チームならびに審判員が一体となった協力が不可欠である。

競技力向上委員会/規則・審判委員会

項目	具体的内容	罰則	対応方法	関連規則	
1) 12・20秒ルールの徹底	走者がいない場合は12秒ルールを適用し、走者がいる場合は従来通り20秒ルールを適用する。ただしいずれの場合も投手がボールを受けてからカウントする。(内規改訂) ①打者は理由なくして打席を外すことはできない。(軸足を動かさない指導の徹底) ②捕手は速やかに投手へ返球し、サインの交換も迅速に行う。 ③次打者は速やかに打席に入る。 *12・20秒ルールは、捕手・打者の行動が影響するのでお互いにスピードアップの精神を尊重すること。	・走者がいない場合、球審はボールを宣告する。 ・走者がいる場合、現行通り球審が警告を発する。同じ投手が2度までの警告には罰則はないが、3度目は球審の裁量で1ボールを宣告する。(走者に進塁権は無い)しかし、審判員が遅延行為と判断すれば、規則に則りボールを宣告する。 打者が理由無く、打席に入ろうとしないか、打撃姿勢をとろうとしなかった場合、球審はただちにストライクを宣告する。	・投手に対して、早く投手板を踏むよう、及び早く投球姿勢を取るよう審判員が積極的に促す。 ・打者に対して、早く打席に入るよう、又早く打撃姿勢をとるよう積極的に促すとともに、むやみに打席を外さないよう注意する。 ・二塁塁審がストップウォッチで計測する ・「塁に牽制球を送球したとき」はリセットする。	・規則 8.04 ・規則 6.02 (打者の義務) ・社会人野球内規 19	
スピードアップ	2) 4.5秒ルールの徹底	球審がタイムをかけてから4.5秒以内に打合せを終了する。 タイムをかけた際には、監督またはコーチは小走りで集散する習慣をつける。		・日本野球連盟(社会人野球)内規15④ ・スピードアップに関する監督申し合わせ事項(監督の行動)	
	3) 内野手(捕手も含む)	内野手(捕手を含む)は1イニングに1回一人だけ投手のところにいくことが許される。ただし、リリフ投手が準備投球を終えた後に捕手がマウンドに行っても回数に数えない。			
	4) 攻撃タイム	攻撃側は9イニングに3回の作戦タイムをとることができる。			
	5) 投手交代	4回目のタイムまたは1イニングに2回目のタイムの際には監督は行く直前に交代を告げること。			
マナーアップ	6) 準備投球	全投手5球以内とする。	投球練習が長引く場合(目安として1分を超えた場合)球審の判断で投球数を制限することがある。	・規則 8.03 ・社会人野球申し合わせ事項 13	
	7) 攻守交替	ゲーム中の全ての行動を迅速に行う。(歩かない、小走りで) ランナーズコーナーも歩かず小走りで移動する。	7. 8. 9項についての罰則はないが、審判員が選手及び監督に厳重注意する。		
	8) サインの伝達	打者が打席を離れてサインを見ることを禁止する。(少なくとも軸足は打席内においてサインを見ること。)			
	9) 防具の着脱	走者はフットガード、アームガード着脱を速やかに行う。			
	10) その他	フェアグラウンドでの速投練習を禁止する。			
	1) ミットの移動の禁止	捕手が投球を受けたときボールの球をストライクに見せる意図でミットを動かす行為を禁止する。			
	2) サイン盗み行為の厳禁	走者から打者へのサインの伝達禁止。紛らわしい動作をしない。	審判員(控審判員含む)が疑わしき行為と認めた場合、当該監督に厳重注意し、違反と認められた場合は監督の退場もあり得る。	控審判員がそのような行為があるか否かを監視する。又は相手チームの抗議があり、その後違反行為とみなされるか否か大会本部委員も監視する。	・社会人野球申し合わせ事項 14
	3) 深い野次の禁止	相手チーム・審判員への中傷的な野次の禁止。	当該監督に厳重注意し、その後野次が続いた場合は退場もあり得る。	同上。	・社会人野球申し合わせ事項 3
	4) ユニフォーム着用時の喫煙についての注意事項	ユニフォーム着用時の喫煙を一切禁止する。 スタンド、球場でのファンの前での喫煙を禁止する。	罰則は無いが、判明した場合は連盟より警告状をチーム野球部長へ送付する。		
	5) バットの素振りの禁止	初回または投手交代時に全員がベンチ前に出て投手のモーションに合わせバットの素振りをするのを禁止する。			
6) サインの伝達	走者・打者間の手を上げるなどのタイミング合わせ、監督の長いサインを禁止する。				
審判員	7) ユニフォームのスポン	すそ巾の広いストレートタイプのスポンの着用を禁止する。(通達事項)			
	8) 首輪(リング)の禁止	首輪(リング)については、ユニフォームの外から見えないように身に付けるべきものとし露見するものは禁止する。(通達事項)			
	9) 出迎え禁止	本塁打・投手交代・攻守交替などベンチから出での出迎え入れを禁止する。			
	1) 権威を持って厳正にジャッジする	ゲームの進行役としての意識付けを行う。 ①審判の役割として、スピーディかつエキサイティングに進行するように積極的に監督・選手に働きかける。 ②警告・罰則に関しては適正かつ厳正に行務する。			
2) ストライクゾーンについて	ルール通りのストライクゾーンの徹底を図る。			・規則 2.74	